

第52期 事業報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

株主通信



スーパーマーケット



ホームセンター



ドラッグストア



スポーツクラブ



ペットショップ

valer[®]

当期のポイント

Point
1

14期連続の増収、経常利益は11期振りの減益に

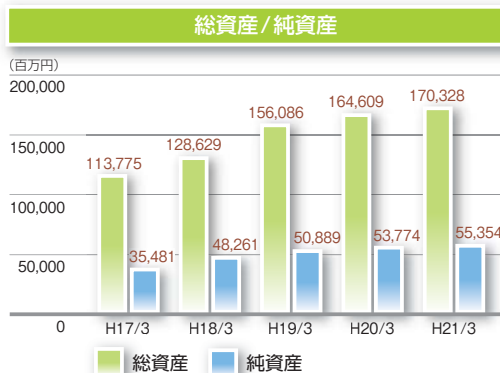
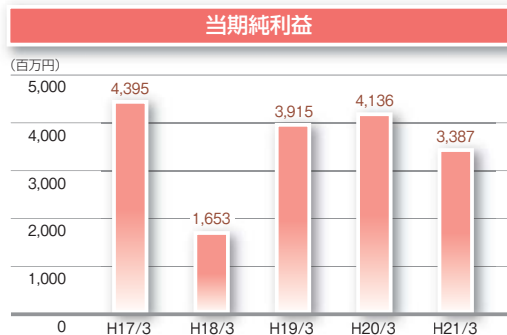
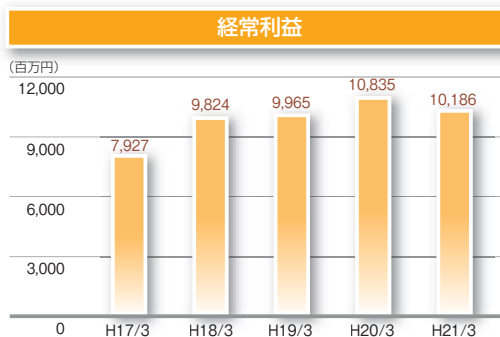
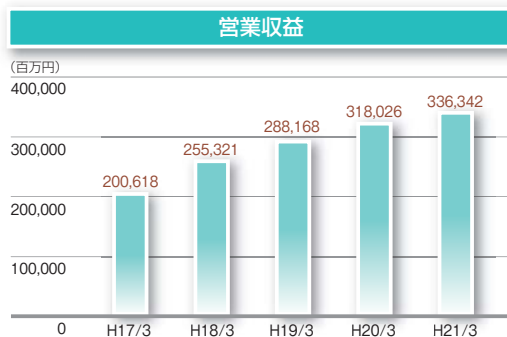
Point
2

消費冷え込みの中で、スーパーマーケット事業は概ね堅調

Point
3

ホームセンター事業とスポーツクラブ事業は出店経費が重荷に

主要業績指標の推移





代表取締役社長

田代正美

製造小売業への 脱皮を果たし、 将来の企業価値を 拡大させてまいります。

Q1

**景気の後退をはじめ、当期(第52期)におけるさまざまな外部要因による事業への影響は
いかがでしたか？**

この1年間は、上半期における食品および原材料・燃料価格の高騰にはじまり、これに対応する新たな価格作りができないまま、9月以降の米国金融危機に端を発する世界同時不況の影響を受け、消費の低迷に見舞われる状況となりました。また、その間も食品偽装など多くの問題が発生し、対処に追われました。言い換えれば、荒利益に関する計画が外部環境に振り回された1年であったと思います。

主力の流通事業について言えば、特に郊外の店舗が苦戦を強いられた状況です。客単価・買上点数の落ち込みに対し、客数がこれをカバーする伸びを見せず、消費者が生活防衛意識を一段と高め、不要不急の買い物を避けている傾向に直面しました。また、当期よりたな卸資産の評価基準を低価法に変更したことに伴い、在庫の回転期間が比較的

長いホームセンターとドラッグストアにおいて評価損が発生したことも、利益面のマイナス要因となりました。

一方、スポーツクラブ事業については、同業他社との過当競争が続く中、会員の入会・退会比率が低迷し、さらにプール施設等の運営において燃料価格の高騰による利益圧迫を受け、収益が大幅に悪化しました。

こうした全般的な低調の中でも、スーパーマーケットにおいては、経費低減施策の奏功と、株式会社タチャ、株式会社ユース、株式会社食鮮館タイヨーといったグループ各社の好調が寄与し、前年並みの利益を確保しました。

Q2

**当期のスーパーマーケット・ホームセンター
の新規出店について、また今後の出店方針に
についてお聞かせください。**

当期は、スーパーマーケット14店舗とホームセンター4店舗を新規出店しました。これらの店舗数については、お



おむね当初計画通りの実現となりました。新店はいずれも、次年度以降の収益化・利益貢献となりますが、今回オープンした4つのホームセンターは、それぞれ3,000~4,000坪規模と大型であり、多額の創業費用を要したため、当期のホームセンター事業にとって非常に大きな負担となりました。

次期(第53期)の新規出店については、当期とほぼ同数を計画しております。今後の出店方針としては、郊外から市街地中心にシフトさせていく考えです。これは社会の高齢化に伴い、消費者の行動範囲が乗用車を必要としない地域に集中していく傾向にあるためです。

なお、平成21年4月23日に当社初のEDLP(エブリデー・ロープライス)型店舗としてパロー師勝店(愛知県北名古屋市)がオープンしました。EDLP型店舗はチラシ特売の廃止

により経費を節減し、毎日お買い得な価格で商品を提供することで、消費者の低価格志向に対応していくものです。当社は同店を実験店舗として運営しつつ、EDLPのビジネスモデル構築に必要なノウハウを蓄積し、今後の事業戦略に活かしていく考えです。

Q3 新会社の設立(Vソリューション、北欧倶楽部)についてご説明願います。

平成20年6月30日、当社はPB(プライベートブランド)商品の開発と販売強化を目的とする株式会社Vソリューションを設立しました。当社のPB商品は現在約800アイテムにまで拡大し、当期はスーパーの売上高に占めるPB商品の割合が約17%となりました。PBの売上構成比は、当面20%までの拡大を目指しており、利益率向上へのさらなる寄与が期待されます。Vソリューションは、これまで各事業部が個別に行っていたPB商品の開発・販売を統括し、別会社化したものです。今後、グループの規模を活かしたPB商品の開発・供給を推進しつつ、グループ外への販売についても積極的に展開していきます。Vソリューションの営業体制は順調に整備が進んでおり、次期の売上高は約150億円を見込んでいます。

そしてもう1社、平成20年9月3日に株式会社北欧倶楽部を設立しました。当社では店内ベーカリーをスーパーマーケット106店舗で展開しており、美味しくて安価な焼きたてパンの提供により、消費者に大きな反響を呼んでいます。北欧倶楽部は、このベーカリー部門を「製造小売業」と位置付け、ベーカリー事業としての業容拡大を目指していく会社です。こちらら極めて好調な操業状況にあり、すでに需要への対応に追加投資を必要としている段階です。

Q4 今後、バローが成長していくための方向性についてはどのようにお考えですか？

小売業においては、そのビジネスモデルを展開させていく方向性として4つの軸があると考えています。すなわち、1番目に「仕入れ」、2番目に「売り方」、3番目に「サービス」、4番目に「立地」です。これらの4つの軸に沿って、どこで他社との違いを出していくか、という取り組みが求められており、先に申し上げました市街地への出店や、EDLP型店舗、PB商品やベーカリー事業など当社における新たな展開も、将来の成長に向けてこれを追求している試みです。

これからの流通業界では、販売だけで生き残っていくことは困難であり、単なる小売から脱皮した「製造小売業」としての新たなビジネスモデルを確立させることが必要となっています。当社は、モノが生産され、消費者に届くまでのあらゆるプロセスにおいてメリットが得られる仕組みを考え、その構築を目指しています。

Q5 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社は、株主の皆様からのご支援とご期待にお応えするべく、利益還元を重要な経営課題として認識し、安定的な配当の実施はもちろんのこと、可能な限り配当額の充実に努めております。こうした考えに基づき、当期の期末配当については、1株当たり10円(前期比1円の増配)を実施させていただきました。これにより当期の1株当たり年間配当額は、中間配当の10円(同1円の増配)と合わせて、20円(同2円の増配)となりました。また、平成20年12月より翌年1月にかけては、100万株の自社株買いを実施いたしました。

さらに当社は、上記のような施策に加え、特色あるPB商品をお届けする株主優待制度など、株主の皆様にご満足していただける還元策を今後も継続してまいります。

当期につきましては、これまで以上に多くの投資家の皆様より当社株式を保有していただき、新たな株主様としてのご支援を賜りましたことにつき、深く感謝申し上げます。今後、当社が実現させていく「製造小売業としての飛躍」へのご注目とともに、将来の企業価値にご期待いただければ誠に幸いに存じます。引き続き当社への長期的なご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



「毎日お買い得価格」型の実験店舗をオープン！

■ 北名古屋市の「バロー^{しかつ}師勝店」

毎日お買い得価格を提供する「エブリデー・ロープライス (EDLP)」型店舗として当社では初の試みとなる「スーパーマーケット バロー師勝店」(愛知県北名古屋市)が、平成21年4月23日にオープンしました。

師勝店では、EDLPという新しいコンセプトのもと、毎日のお料理で使う魚、肉、野菜、果物、デリカ類を中心にお値打ち価格にしています。チラシ特売の廃止によって、その作成・配付費用だけでなく、売場変更などの作業負担もなくし、商品供給を安定させることで経費を削減します。また、従来は部門単位で管理してきた店内作業を、作業の性格や質に合わせて再構成。自社物流によるジャスト・イン・タイム納品で各商品の納品タイミングを調整し、店内の作業効率を最適化

します。店舗規模は、グロサリー商品の絞り込みによってコンパクト化し、設備投資を圧縮します。このようにコスト削減を徹底することで、格安の商品提供を可能にしました。

消費者の低価格志向がますます強まる中で、スーパーマーケットには、過去の発想を超えて世の中のニーズに答えていく経営が求められており、今回のEDLPへの取り組みは、より良い品を、よりお買い得な価格でお客様へ提供するための試みです。当社は、師勝店の運営を通じてEDLPのビジネスモデル構築に必要なノウハウを蓄積し、今後の事業戦略に役立てていく考えです。



バロー師勝店

愛知県北名古屋市鹿田西赤土76番地1

TEL : 0568-26-6188 営業時間 : 午前10時~午後8時



オープニングセールには、店外に行列ができるほど大勢のお客様にご来店をいただき、店内は品定めをするお客様の熱気に包まれて大盛況でした。



人気PB商品レポート

当社のプライベートブランド (PB) であるVセレクトは、「安心・安全・健康」をテーマに、本当に価値ある商品を低価格で消費者の皆様にご提供することを目指して、企画・開発しています。

「ハーフベーコン」

Vセレクトの中でも常に人気が高いのが「ハーフベーコン」。炒めもの、パスタ、スープなど、ご家庭で作るいろいろな料理に大活躍の食材です。

Vセレクト「ハーフベーコン」は、愛知県の伊藤ハム(株)豊橋工場で作られます。原料肉はベーコンに適し、安定した品質で評価の高いデンマーク産を主に使用。品質の管理は専門のスタッフが徹底的に行っています。ベーコン作りのポイントとなる「くん煙」は、肉を煙でいぶして色と香りをつけ、酸化防止効果で保存性を高めます。Vセレクト「ハーフベーコン」のくん煙には、原料肉との相性がよい山形県産の桜チップを使用しています。

お手頃価格でこだわりの品質を味わえるVセレクト「ハーフベーコン」。ぜひご賞味ください。



「バターロール」と「レーズンバターロール」

元気な一日を過ごすには朝食をしっかり食べることが大切ですが、毎日の朝ごはんが“パン党”の方にお勧めなのがロールパンです。朝は食欲がない、食べる時間がないという方も、気軽に食べられるロールパンはいかがでしょうか。

フジパン(株)で作られているVセレクトシリーズのロールパンは「バターロール」と「レーズンバターロール」の2種類。いずれも製造工程を一工程で行うことで、素材の風味そのものを生かしたパンに仕上がる「ストレート製法」を採用し、その独自の食感を生かした製品です。とても食べやすいマイルドな風味に加え、食べた時の生地弾力感も十分で、素朴な甘みやレーズンの旨みの特徴とした食べ応えのある味わいが大人気です。



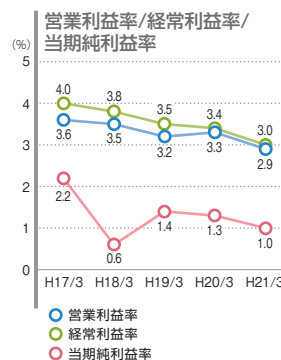
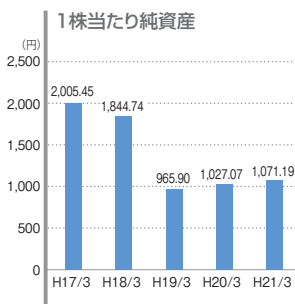
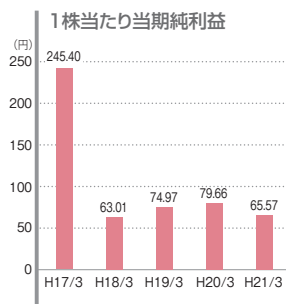
出店45店舗、退店10店舗で、総店舗数は436店舗に

当期の連結業績は、営業収益3,363億42百万円(前期比5.8%増)、営業利益97億95百万円(同6.6%減)、経常利益101億86百万円(同6.0%減)となりました。また、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用によるたな卸資産評価損7億82百万円及び減損損失18億25百万円を特別損失に計上し、当期純利益は33億87百万円(同18.1%減)となり、14期連続の増収を達成しましたが、利益面では減益になりました。

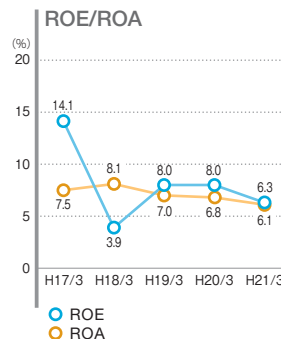
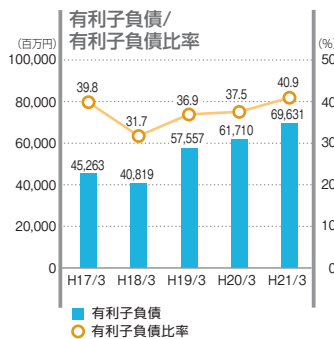
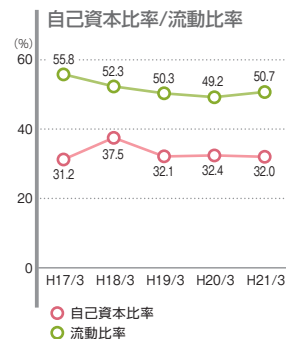
当社グループではお客様の暮らしを応援するために、プライベートブランド(PB)商品の拡大・充実化を進めて、安

心・安全な商品をより手頃な価格でご提供することに努めたほか、業容の拡大と企業体力の強化にも、引き続き取り組んでまいりました。

当期における出店状況につきましては、出店45店舗(スーパーマーケット14店舗、ホームセンター4店舗、ドラッグストア22店舗、スポーツクラブ5店舗)を開設し、一方、10店舗(スーパーマーケット2店舗、ドラッグストア8店舗)を閉鎖いたしました。この結果、当期末の総店舗数は436店舗となりました。



※ 平成17年11月18日付けで1対1.2の株式分割を、平成18年4月1日付けで1対2の株式分割をそれぞれ実施しております。





店舗の新設・閉鎖の状況

	21年3月期 (店)			22年3月期計画 (店)		
	新設	閉鎖	期末	新設	閉鎖	期末
スーパーマーケット	14	2	167	13	0	180
ホームセンター	4	0	36	0	0	36
ドラッグストア	22	8	154	6	0	160
スポーツクラブ	5	0	50	2	0	52
ペットショップ	0	0	16	1	0	17
その他	0	0	13	0	0	13
合計	45	10	436	22	0	458



上：スーパーマーケット「パロー則武店」

下：ホームセンター「パロー久居インター店」



左：スーパーマーケット「パロー引佐店」

下：スーパーマーケット「パロー刈谷店」



左：ドラッグストア
「V・drug志段味店」

次期の連結業績見通し

商品開発力と店舗運営力の強化で増収増益を計画

今後の事業環境につきましては、個人消費の低迷や流通業界における競争激化など、依然として厳しい状況が続くものと思われま。このような状況にあって、食品の安全性に対する要求や価格志向の高まりから、顧客による商品・店舗の選別がさらに進むことが予想されます。当社グループにおきましては、価格競争力を維持するために商品開発力と店舗運営力の強化を図る一方で、食の安全をより確かなものにするための取り組みを進めてまいります。ま

た、新規出店や既存店の活性化を推し進めながら、東海地区、北陸地区及び静岡地区のエリアドミナント化を推し進めることにより企業規模の拡大を図ってまいります。

以上の取り組みにより、営業収益3,590億円(前期比6.7%増)、営業利益107億円(同9.2%増)、経常利益108億円(同6.0%増)、当期純利益38億円(同12.2%増)を見込んでおります。

■ 連結営業収益

3,590 億円

■ 連結営業利益

107 億円

■ 連結経常利益

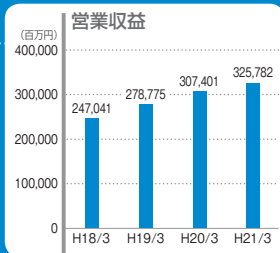
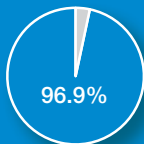
108 億円

■ 連結当期純利益

38 億円

流通事業

325,782百万円
(営業収益構成比96.9%)



当社グループでは、新規プライベートブランド(PB)、「Vセレクト・Vクオリティ・Vオーガニック」の立ち上げや、グループ企業全体のPB関連事業を統括する子会社「株式会社Vソリューション」の設立等により、主力商品としてのPBづくりに向けた体制強化を図りました。

また、生鮮・総菜等の部門でも、廃棄ロスの低減や新規商品の投入などで一段の価格引き下げを図りました。

とくに、焼きたてパンを毎日98円均一でご提供する「北欧倶楽部」は、一層の低価格・高付加価値化を進めるため、子会社「株式会社北欧倶楽部」として独立させることで経営体制を整備いたしました。

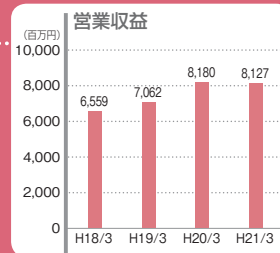
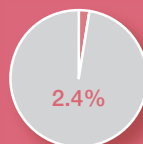
このほか、「パローグループカード」の導入による決済手段の多様化や、セルフレジの増設による精算のスピードアップなど、顧客満足度の向上に努めました。さらに、経費節減や生産性の向上にも、積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当期における流通事業の営業収益は前期比6.0%増の3,257億82百万円、営業利益は同6.6%減の94億92百万円となりました。



スポーツクラブ事業

8,127百万円
(営業収益構成比2.4%)



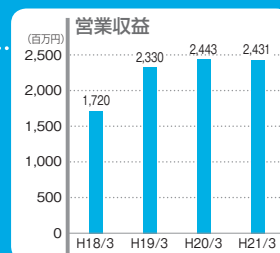
メタボリック・シンドローム対策の提案など、さまざまな企画で営業の強化を図りましたが、上半期の原油価格上昇による燃料費の高騰や、景気後退の影響等により会員入退率が好転しなかったため、利益面では厳しい決算となりました。

以上の結果、当期におけるスポーツクラブ事業の営業収益は前期比0.6%減の81億27百万円、営業損失は2億23百万円(前期は営業利益40百万円)となりました。



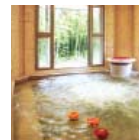
その他の事業

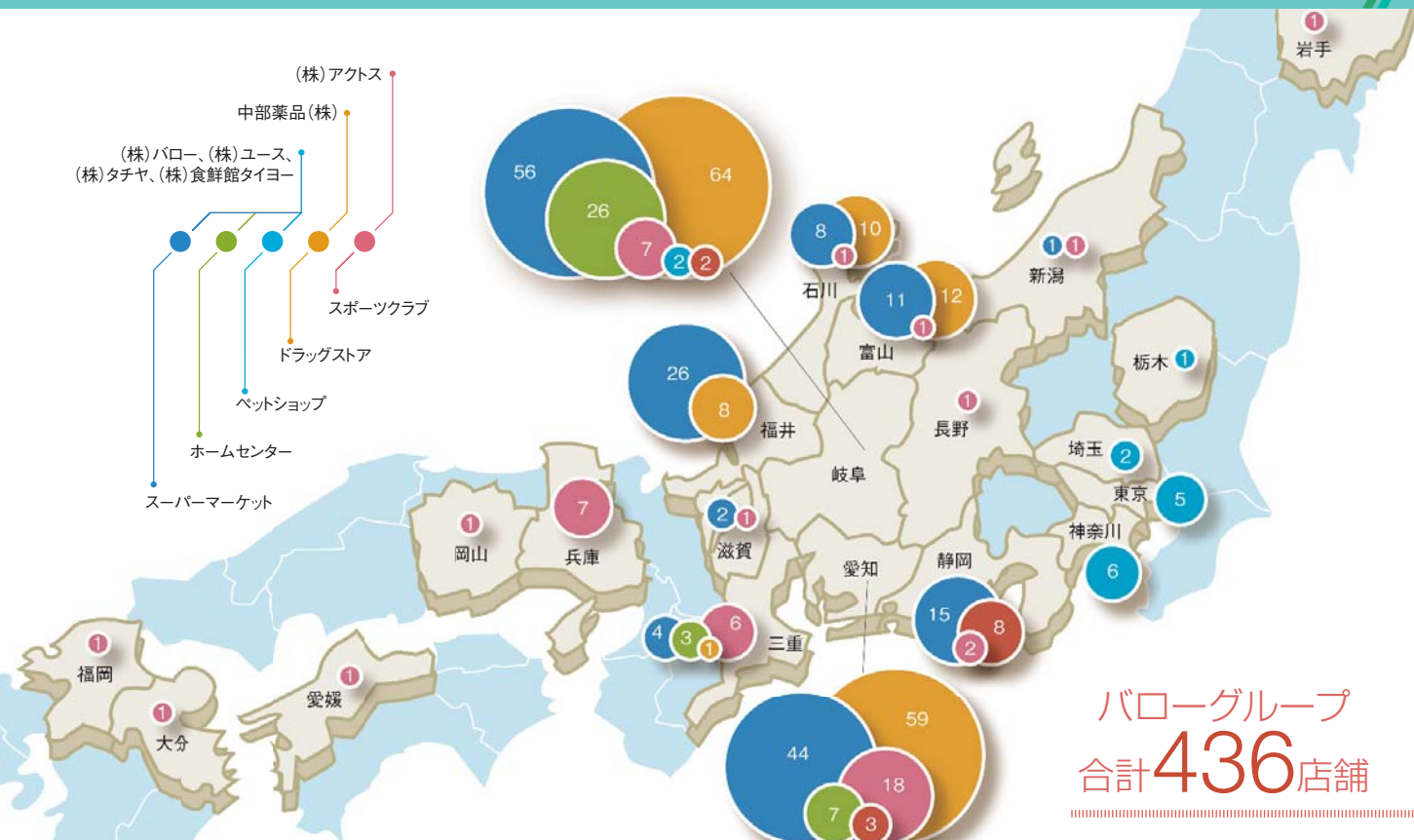
2,431百万円
(営業収益構成比0.7%)



清掃業、保守管理業及び保険代理業などを営んでおり、グループ各社それぞれに営業部門の充実と顧客の開拓に努め、グループとしてのシナジー実現に努めてまいりました。

以上の結果、当期におけるその他の事業の営業収益は前期比0.5%減の24億31百万円、営業利益は2億15百万円(前期は営業損失11百万円)となりました。





バローグループ
合計**436**店舗

スーパーマーケット	
167店	
岐阜県	56店
愛知県	44店
三重県	4店
富山県	11店
石川県	8店
福井県	26店
静岡県	15店
滋賀県	2店
新潟県	1店

ホームセンター	
36店	
岐阜県	26店
愛知県	7店
三重県	3店

ドラッグストア	
154店	
岐阜県	64店
愛知県	59店
三重県	1店
富山県	12店
石川県	10店
福井県	8店

スポーツクラブ	
50店	
岐阜県	7店
愛知県	18店
三重県	6店
富山県	1店
石川県	1店
静岡県	2店
滋賀県	1店
兵庫県	7店
長野県	1店
福岡県	1店
岩手県	1店
愛媛県	1店
岡山県	1店
新潟県	1店
大分県	1店

ペットショップ	
16店	
岐阜県	2店
東京都	5店
神奈川県	6店
埼玉県	2店
栃木県	1店

その他	
13店	
岐阜県	2店
愛知県	3店
静岡県	8店

(平成21年3月31日現在)

連結財務諸表（要約）

（単位：百万円）

連結貸借対照表	当期	前期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
資産の部		
流動資産	36,422	33,874
固定資産	133,906	130,734
有形固定資産	96,723	94,247
無形固定資産	7,339	7,643
投資その他の資産	29,843	28,843
資産合計	170,328	164,609
負債の部		
流動負債	71,837	68,807
固定負債	43,136	42,028
負債合計	114,974	110,835
純資産の部		
株主資本	54,668	53,239
評価・換算差額等	△107	101
新株予約権	344	-
少数株主持分	449	432
純資産合計	55,354	53,774
負債及び純資産合計	170,328	164,609

1 資産の部

当期末の総資産は、前期に比べ57億19百万円増加し、1,703億28百万円となりました。

主に、新規出店によるたな卸資産12億65百万円の増加及び設備投資等による固定資産31億71百万円の増加によるものであります。

2 負債及び純資産の部

負債は、有利子負債の増加により前期末に比べ41億38百万円増加し、1,149億74百万円となりました。

また、純資産は前期に比べ15億80百万円増加し、553億54百万円となり、新株予約権及び少数株主持分を除いた自己資本比率は32.0%となりました。

（単位：百万円）

連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
平成20年3月31日残高	11,916	12,670	29,875	△1,223	53,239	101	101	-	432	53,774
連結会計年度中の変動額										
連結範囲の変更に伴う剰余金増加			16		16					16
剰余金の配当			△986		△986					△986
当期純利益			3,387		3,387					3,387
自己株式の取得				△989	△989					△989
自己株式の処分		△0		0	0					0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						△208	△208	344	17	152
連結会計年度中の変動額合計		△0	2,417	△989	1,428	△208	△208	344	17	1,580
平成21年3月31日残高	11,916	12,670	32,292	△2,212	54,668	△107	△107	344	449	55,354

(単位:百万円)

連結損益計算書	当期	前期	
	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	
営業収益	336,342	318,026	③
売上高	323,878	307,118	
営業収入	12,463	10,908	
売上原価	246,856	234,044	
営業総利益	89,485	83,982	
販売費及び一般管理費	79,690	73,490	
営業利益	9,795	10,491	
営業外収益	2,276	2,112	
営業外費用	1,886	1,768	
経常利益	10,186	10,835	④
特別利益	835	285	
特別損失	4,059	2,234	
税金等調整前当期純利益	6,962	8,886	
法人税、住民税及び事業税	3,743	4,779	
法人税等調整額	△ 189	△ 68	
少数株主利益	21	38	
当期純利益	3,387	4,136	⑤

(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書	当期	前期	
	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,408	13,942	⑥
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,929	△ 16,869	⑦
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,150	3,643	⑧
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	
現金及び現金同等物の増加額	1,629	717	
現金及び現金同等物の期首残高	7,372	6,655	
現金及び現金同等物の期末残高	9,000	7,372	

③ 営業収益

消費冷え込みの中で積極的な低価格政策を取ったものの、客単価の下落を客数の伸びでカバーできず、既存店売上高は前期比2.9%減となりましたが、積極的な新規出店が寄与し、増収を確保しました。

④ 経常利益

大型店4店を出店したホームセンター事業が、出店経費負担増から赤字となりました。また、スポーツクラブ事業も、原油高等による経費率悪化と出店経費負担により、経常赤字を記録しました。スーパーマーケット事業は概ね堅調でしたが、これらの事業の不振をカバーするには至りませんでした。

⑤ 当期純利益

「棚卸資産の評価に関する会計基準」を当期に適用したことによるたな卸資産評価損7億82百万円及び減損損失18億25百万円を特別損失に計上したことにより、当期純利益は減益となりました。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、前期に比べ25億33百万円減少し、114億8百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加12億65百万円及び法人税等の支払49億62百万円の支出があったものの、税金等調整前当期純利益69億62百万円、減価償却費80億81百万円の計上及び仕入債務の増加額11億21百万円によるものです。

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前期に比べ9億39百万円減少し、159億29百万円となりました。これは主に、新規出店及び改装による有形固定資産の取得166億58百万円及び差入保証金の差入額20億77百万円の支出があったものの、有形固定資産の売却による収入25億98百万円によるものです。

⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、前期に比べ25億6百万円増加し、61億50百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済71億4百万円があったものの、短期借入金の純増額16億16百万円、長期借入金の調達99億円及び社債の発行による収入40億円によるものです。

会社概要

(平成21年3月31日現在)

商号	株式会社パロー
設立	昭和33年7月29日
資本金	119億16百万円
従業員数	7,117名(社員1,895名、パートタイマー等5,222名) [8h換算]

役員

(平成21年6月25日現在)

代表取締役社長	田代 正美
専務取締役	川野 篤之 (開発統括本部長)
常務取締役	中村 純二 (SM事業統括本部長兼SM営業部長)
取締役	鈴木 一宏 (SM商品部長)
取締役	鈴木 敏道 (海外事業部長兼上海事務所長)
取締役	今井 俊幸 (企業設計統括本部長兼総務部長)
取締役	中西 勤 (システム部長)
取締役	愛知 久土 (用地開発部長)
取締役	志津 幸彦 (財務部長)
取締役	横山 悟 (株式会社アクトス代表取締役社長)
取締役	古谷 光雄 (株式会社ユース取締役事業本部長)
常勤監査役	久保香一郎
常勤監査役	佐々木 公
監査役	市川 康夫 (公認会計士)
監査役	豊田 滋 (税理士)
監査役	廣田 輝夫 (税理士)

監査役市川康夫、豊田滋及び廣田輝夫の各氏は、社外監査役であります。

パローグループ

(平成21年6月25日現在)

■ 営業拠点

本部 多治見市大針町661-1	株式会社オカノ 掛川市大池539
上海事務所 中国上海市茂名南路58号錦泰辦公樓 208-209	有限会社Vマート 福井市文京1-16-1
新横浜事務所 横浜市港北区新横浜3-6-5 新横浜第一生命ビル5F	株式会社ショクブ 名古屋守山区向台3-1807
株式会社ユース 福井市文京1-16-1	株式会社アクトス 多治見市希望ヶ丘4-75-3
株式会社タチャ 名古屋市緑区神沢1-426-1	株式会社中部保険サービス 恵那市大井町293-10
株式会社食鮮館タイヨー 静岡市清水区清水村松地先新田27-3	株式会社ヒルトップ 郡上市高鷲町上野2756-2
山成商事株式会社 七尾市作事町80	農業生産法人 ひるがのフラワーファーム有限公司 郡上市高鷲町上野2756-2
中部薬品株式会社 多治見市高根町4-29	■ 物流拠点
株式会社岐阜ファミリーデパート 土岐市泉町久尻42-11	第1物流センター(チルド食品) 多治見市大針町661-1
中部フーズ株式会社 多治見市高根町4-20	第2物流センター(ドライ食品) 多治見市大針町661-1
株式会社ダイエンフーズ 四日市市富双2-1-2	第3物流センター(ホーム用品) 多治見市高根町4-29
株式会社主婦の店商事中部本社 名古屋市熱田区川並町2-22	第4物流センター(ホーム用品・輸入商品) 多治見市姫町3-40
株式会社北欧倶楽部 多治見市大針町661-1	旭ヶ丘センター(ホーム用品) 多治見市旭ヶ丘10美濃焼卸団地3番街
株式会社福井中央漬物 多治見市大針町661-1	大垣物流センター 大垣市東前町900
株式会社飛騨小坂ぶなしめじ 下呂市小坂町小坂町27-33	北陸物流センター 富山県南砺市福光136-1
株式会社Vソリューション 多治見市大針町661-1	中部薬品物流センター 多治見市高根町4-29
中部流通株式会社 多治見市大針町661-1	ユース生鮮センター(チルド食品・青果・PC) 福井市大和田町19字五反田1-2
メンテックス株式会社 多治見市大針町661-1	ユース流通センター(ドライ食品) 福井市重立町28
中部興産株式会社 多治見市大針町661-1	

株式数および株主数

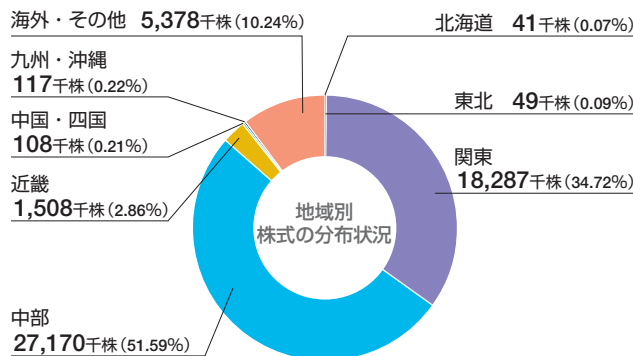
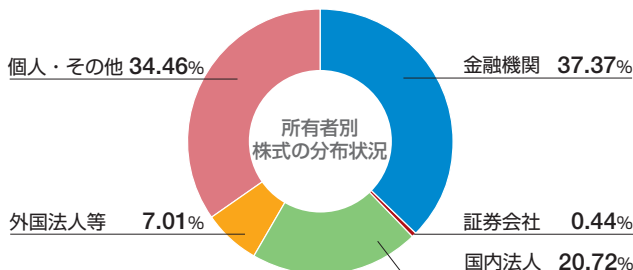
(平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数	112,800,000 株
発行済株式の総数	52,661,699 株
株主数	13,946 名

所有者別株式の分布状況

(平成21年3月31日現在)

	株主数(名)	持株数(千株)	持株比率(%)
金融機関	44	19,682	37.37
証券会社	24	231	0.44
国内法人	437	10,915	20.72
外国法人等	148	3,694	7.01
個人・その他	13,293	18,137	34.46

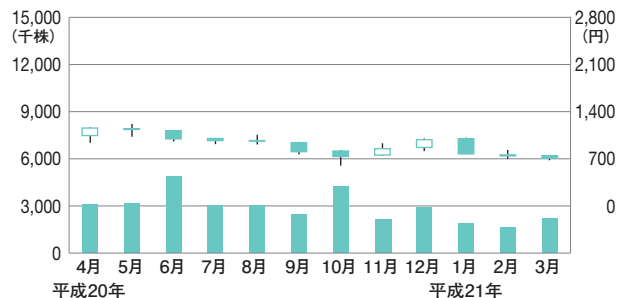


大株主（上位10名）

(平成21年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,024	7.64
田代正美	2,868	5.44
農林中央金庫	2,512	4.77
財団法人伊藤青少年育成奨学会	2,400	4.55
株式会社十六銀行	2,190	4.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	2,184	4.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,929	3.66
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,746	3.31
株式会社パロー(自己株式)	1,727	3.27
伊藤喜美	1,678	3.18

株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむをえない事情により電子公告ができない 場合、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (http://www.valor.co.jp/ir/index.html)

● 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出下さい。

株主優待制度のお知らせ

毎年3月31日現在の所有株式数100株以上の株主様に対し、A(自社開発商品詰合せ)、又はB(商品券)のいずれかを選択していただき、年1回贈呈いたします。

保有株式数	A 自社開発商品詰合せ	B 商品券(500円券)
100株～499株の株主様	1,500円相当	3枚 1,500円
500株～999株の株主様	2,500円相当	5枚 2,500円
1,000株以上の株主様	5,000円相当	10枚 5,000円

【例】100株～499株の株主様の場合



1,500円相当の
自社開発商品詰合せ

又は



「バローグループ」
商品券3枚(1,500円)

ホームページの紹介



バローグループでは、株主・投資家の皆様やお客様と、より良いコミュニケーションを図るための情報をホームページにて公開しております。是非、ご覧下さい。

<http://www.valor.co.jp>

株式会社 **バロー**

本部 岐阜県多治見市大針町661-1
TEL:0572-20-0860 (代表)
URL:<http://www.valor.co.jp>